

平成30年9月21日

平成30年度病害虫発生予察注意報（第7号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名：カキ炭疽病
2. 対象作物：カキ
3. 対象地域：県内全域
4. 予想発生量：多
5. 発生時期：9月～11月
6. 注意報発表の根拠

- 1) 9月の「富有」の発生園率は35%で（図1）、平年（15%）に比べ高い。
- 2) 9月の「富有」の発病果率は1.1%で（図2）、平年（0.7%）に比べ高い。
- 3) 9月13日発表の近畿地方1か月予報によると、平均気温は高い確率60%、降雨量は平年並または多い確率ともに40%であり、高温多雨で発病がさらに増加する可能性がある。

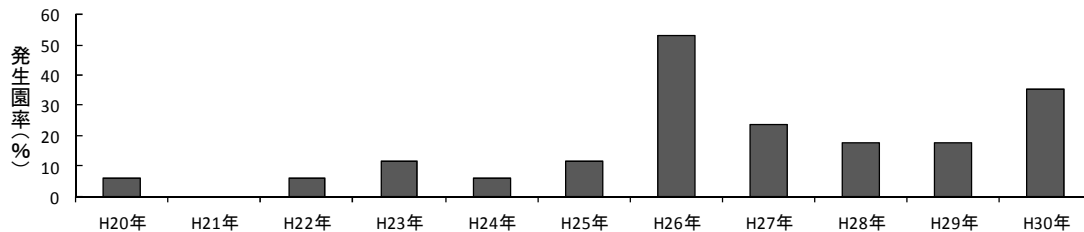


図1 カキ炭疽病の発生園率(品種:富有、調査時期:9月、調査園数:17園)

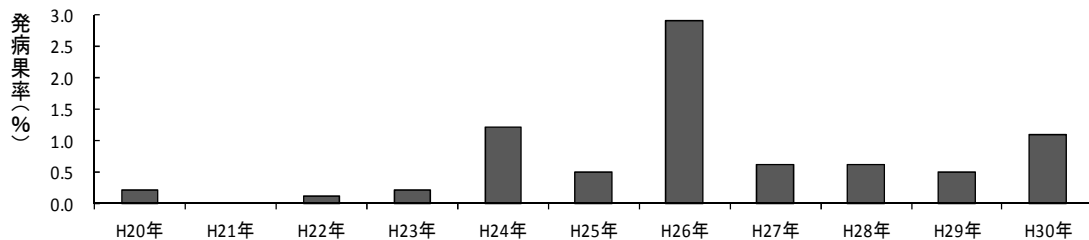


図2 カキ炭疽病の発病果率(品種:富有、調査時期:9月、調査園数:17園)

7. 防除上の注意事項

- 1) 発病果は伝染源になるため、園内を巡回し、発病果を速やかに採取して土中に埋める。
- 2) 発病果がみられる園や降雨が続く場合は薬剤防除を行う。また、台風が接近する場合は事前に薬剤を散布し、できなかった場合は台風通過後速やかに散布する。
- 3) 薬剤防除は、耐性菌対策として同一系統の薬剤は連用しないように注意する。
- 4) 軟弱徒長した枝が増えないように施肥による窒素過多や強剪定を控える。冬季の剪定時に病斑を形成した枝を除去する。
- 5) 排水不良園、密植で通風の悪い園は発病しやすいため、園内の環境改善に努める。
- 6) 農薬については、最新の登録情報（（独）農林水産消費安全技術センター・農薬登録情報提供システム [https://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](https://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)）を参照し、適正に使用する。特に、収穫が近い園では収穫前日数に注意する。

担当：農作物病害虫防除所 紀の川駐在  
間佐古、弘岡 電話：0736(73)2274